

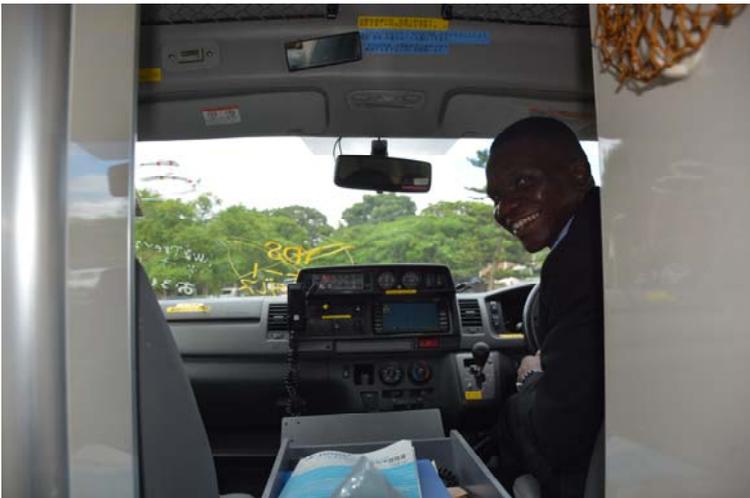
## ご報告:マラウイ共和国(マラウイ・キリスト教保健協会) 救急車寄贈事業

平成29年度海外援助事業として、日本の自治体より無償譲渡いただいた救急車2台を寄贈いたしました。

車両の現地到着後2017年9月22日、日本大使館立会いのもと、引渡式が行われましたので、ご報告いたします。

### <現地写真>

<p>1</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>寄贈救急車の前で記念撮影</p> <p>左端からアフリカ・バイブル大学クリニック(ABC)ヤング医療主任、マラウイ・キリスト教保健協会(CHAM)チコパ事務局長、柳沢大使、マラウイ共和国保健省フォシコ診療サービス局副局長</p> <p>マラウイでは世界銀行の支援で緊急搬送システムの構築が計画されている。</p>	
<p>2</p>	<p>&lt;引渡式&gt;</p> <p>テープカットを行うマラウイ共和国サリマ県サンガ・ベイ・バプティスト・ヘルスセンター職員(左)と在マラウイ日本国大使館 柳沢 香枝 特命全権大使(右)</p> <p>職員達はサイレンやストレッチャー等が装備された救急車を見て喜んだ。</p>	

<p>3</p>	<p>&lt;配備先写真&gt;</p> <p>アフリカ・バイブル大学(ABC)クリニックへ到着した横浜市供出の救急車</p> <p>クリニックは 24 時間体制となっている。</p>	
<p>4</p>	<p>&lt;配備先写真&gt;</p> <p>救急車の到着を喜ぶドライバー</p> <p>マラウイは日本と同じ道路左側を通行する。</p>	
<p>5</p>	<p>&lt;配備先写真&gt;</p> <p>救急車の到着を喜ぶ職員達</p> <p>寄贈により、患者の負担を抑えた搬送ができるようになった。</p>	

<p>6</p>	<p>&lt;配備先写真&gt;</p> <p>サリマ県サンガ・ベイ・バプテ イスト・ヘルスセンターへ配備 された相模原市供出の救急 車</p> <p>写真の建物は産科病棟となっ ている。</p>	
<p>7</p>	<p>&lt;配備先写真&gt;</p> <p>車椅子の患者を搬送するサリ マ県サンガ・ベイ・バプティ スト・ヘルスセンター職員達</p>	
<p>8</p>	<p>&lt;配備先写真&gt;</p> <p>患者の様子を確認する職員 達</p> <p>救急車の寄贈により、患者の 負担を抑えた搬送ができるよ うになった。</p>	